

読書週間

季節は秋ですが、こここのところの寒さを考えると一気に冬に突入した感じがします。

秋についての言葉はたくさんあります。「スポーツの秋」、「学習の秋」、「読書の秋」。日本人にとって厳しい夏を乗り越えた秋は、何をやるにもちょうどよい季節として感じるのでしょう。

さて、10月27日からの2週間は「読書週間」として、読書を推進する期間とされています。代々木山谷小学校では、11月8日から読書週間が始まります。これを機会に、多くの本に触れてください。

私が何年か前に読んだ本があるので、紹介したいと思います。星野富弘という人が書いた「風の旅」という本です。星野さんは若いころ、体操の選手として活躍していました。また、山登りが大好きで、山岳部にも所属していたのです。大変なスポーツマンだったのです。

しかし、大人になって先生として働くことになってから2か月後、体育館で体操クラブの指導をしていた時、お手本を見せようとして、失敗をしてしまいました。2mの高さから頭から落ちてしまったのです。

そして、それ以来、歩くことも、寝返りを打つことも、トイレに行くこともできなくなってしまったのです。

星野さんは、嘆き、悲しみました。でも、心を強くもって、口に筆をくわえて絵を描くようになったのです。絵を描く時の気持ちを綴った文章が本になっています。その中の一つの作品「花」の一部を読んでもみます。

「花」（新編 風の旅より）を朗読